

2013年2月7日

プレスリリース

本資料は 月 日にチューリッヒで
発表されたプレスリリースの翻訳
版です

クレディ・スイス・グループ

2012年通期および第4四半期業績を発表

2012年通期業績：

基礎的*コア税引前利益 50 億 800 万スイス・フラン (CHF)、前年の 23 億 7,100 万 CHF から増加

株主に帰属する基礎的*純利益 35 億 7,700 万 CHF、前年の 17 億 9,700 万 CHF から増加

基礎的*株主資本利益率 10%

2012年コア税引前利益 21 億 600 万 CHF、

株主に帰属する純利益 14 億 8,300 万 CHF および

株主資本利益率 4%、

自社社債の信用スプレッドの改善およびその他の重要な営業外項目の計上による自社社債の税引前公正価値評価損 29 億 3,900 万 CHF を反映

2012年第4四半期業績：

・基礎的*コア税引前利益 11 億 7,300 万 CHF、株主に帰属する基礎的*純利益 8 億 1,600 万 CHF および基礎的*株主資本利益率 9%、

・コア税引前利益 5 億 9,600 万 CHF、株主に帰属する純利益 3 億 9,700 万 CHF および株主資本利益率 4%、自社社債の信用スプレッドの改善およびその他の重要な営業外項目の計上による自社社債の税引前公正価値評価損 3 億 7,600 万 CHF を反映

事業部門別前年同期比 2012 年第 4 四半期業績：

- ・プライベート・バンキング部門およびウェルス・マネジメント部門の両事業の税引前利益は、前年同期の 5 億 3,200 万 CHF から 9 億 1,100 万 CHF へと大きく伸長
- ・インベストメント・バンキング部門の業績は大きく回復、前年同期の赤字から税引前利益 2 億 9,800 万 CHF へと黒字転換、市場主導型ハイリターン事業への重点化による大きな恩恵を享受
- ・クレディ・スイス・グループ全体の純収益の 21%が、統合事業モデルからのコラボレーション収益として創出され、主要業績指標（KPI）目標値 18-20%を上回る

引き続き資本基盤強化計画を実施：

- ・資本：2012 年第 4 四半期ルックスルーのスイス国内資本比率 9.4%（試算ベース）、2013 年半ばまでに 2018 年末要件 10%を上回る目標の達成に向けて順調に推移
- ・貸借対照表：2012 年第 3 四半期末以来、貸借対照表上の総資産を 990 億 CHF 減の 9,240 億 CHF へ削減、2013 年末までに 9,000 億 CHF 未満に圧縮するという目標の予定計画を大幅に前倒しする進捗ぶり
- ・リスク加重資産（RWA）：バーゼル 3 RWA を、2011 年第 3 四半期末以来、770 億 CHF 減の 2,930 億 CHF へ削減、2013 年末の 2,800 億 CHF 未満へ削減する目標に近づく

コスト節減対策の進捗状況：

- ・20 億 CHF の費用節減を達成、2013 年度中期目標を 32 億 CHF へ上方修正。2015 年末までの合計コスト削減ランレートの目標を、2011 年上半期の調整済み年率換算ランレートに対して 44 億 CHF に増額。

クレディ・スイス・グループは、2013 年 2 月 7 日、2012 年第 4 四半期業績および 2012 年通期業績を発表しました。

今回の発表について、最高経営責任者（CEO）のブレイディ・ドゥーガンは、次のように述べました。

「2012年は移行期でした。新しい規制要件の実施、顧客需要の変化、市場環境の現状に当社の事業および組織を適応させるべく、各種の重要な措置を講じました。2012年の当初から、バーゼル3リスク加重資産（RWA）を全社的にさらに550億CHF削減し、試算ベースのルックスルーのスイス国内コア資本に123億CHFを追加することによって当社の資本基盤を強化し、コスト基盤を、2011年上半期の調整済み*年率換算ランレイトに対して20億CHF削減し、主要市場への投資を継続しました。このような変革過程全体を通じて、堅調な収益と2012年通期の基礎的*株主資本利益10%を創出すると同時に、事業全体を通じて強力な市場シェア・モメンタムを維持しました。2012年第4四半期では、引き続き、統合事業モデルからの恩恵を享受し、事業部門間のコラボレーション収益は、クレディ・スイス・グループ全体の純収益の21%占めるに至りました。当社のお客様からは、当社が新しい規制要件に自社組織を適用させるべく講じた迅速かつ断固とした措置に対して高い評価をいただき、当社を信頼できる強力なパートナーとして見ていただいております」。

プライベート・バンキング&ウェルス・マネジメント部門の業績について、「2012年第4四半期には、プライベート・バンキング&ウェルス・マネジメント部門の新しい環境への適応措置、顧客モメンタムの獲得、収益力の向上が順調な進捗状況を見せました。顧客のリスク回避傾向が続く中でも、堅調なトランザクション・ベースおよび運用業績ベースの収益により、好調な収益を創出しました。第4四半期には、また、顧客に提供する金融商品、アドバイスおよびサービスの整合性をよりうまく管理すべく組織立った対策も講じました。このような措置によって、収益性と効率性がさらに高まるものと確信しております」（ドゥーガン CEO）。

インベストメント・バンキング部門については、「2012年第4四半期業績は、前年同期に比べ大幅に改善しました。当社は、いち早く、インベストメント・バンキング部門で‘実質的に事業モデルを適応させた銀行の一つであり、目下、大幅に縮小したリスク加重資産とコスト基盤のもとで、高収益と高利益を創出しています。困難な市況局面が続いた移行年でさえも、当社の継続事業は、ノーマライズド*バーゼル3配分資本利益率が、第4四半期で8%、2012年通期で14%を創出しました。また、市場主導型ハイリターン事業に重点化した資本効率的なインベストメント・バンキング部門を創り上げました」（ドゥーガン CEO）。

年が変わって2013年の事業の進捗について、「2013年に入ってこれまでのところ、収益は、従前見られてきた良いスタートと同様であり、収益力は、資本ポジションの強化、およびリスクとコスト基盤の大幅な削減・縮小を含め、2012年に講じた戦略的措置から恩恵を受けています」とドゥーガン CEO は結びました。

2012年第4四半期業績および2012年通期業績の概要

決算ハイライト					
単位：百万 CHF (別途記載がある場合を除く)	2012年 第4四半期	2012年 第3四半期	2011年 第4四半期	2012年 通期	2011年 通期
公表税引前利益/損失(コア業績)	596	359	(998)	2,106	2,749
基礎的*税引前利益/損失(コア業績)	1,173	1,203	(975)	5,008	2,371
公表純利益/損失 株主帰属ベース	397	254	(637)	1,483	1,953
基礎的純利益/損失 株主帰属ベース	816	891	(632)	3,577	1,797
希薄化1株当たり利益 (CHF)	0.17	0.16	(0.62)	0.90	1.36
株主資本利益率 株主帰属ベース (年換算)	4.4%	2.9%	(7.7)%	4.3%	6.0%
基礎的株主資本利益率 株主帰属ベース (年換算)	8.7%	9.6%	(7.7)%	10.0%	5.5%
バーゼル 2.5 Tier 1 比率(期末)	19.5%	18.5%	15.2%	19.5%	15.2%
バーゼル 2.5 コア Tier 1 比率(期末)	15.6%	14.7%	10.7%	15.6%	10.7%
FINMA レバレッジ・レシオ(バーゼル 2.5)	5.8%	5.2%	4.6%	5.8%	4.6%
1株当たり簿価合計 (CHF)	27.54	27.60	27.59	27.54	27.59
1株当たり有形簿価 (CHF)	20.87	20.73	20.32	20.87	20.32

プライベート・バンキング&ウェルス・マネジメント部門の2012年第4四半期の純収益は33億3,400万CHF、税引前利益は9億1,100万CHF：

・純収益は、2012年第3四半期に対して安定的に推移。これは、トランザクション・ベースおよび運用業績ベースの大幅な収益の増加が、その他の収益の減少によって相殺されたことによるものである。純利息収入および経常手数料/フィー収益は安定的に推移。

- ・ ウェルス・マネジメント顧客事業：2012年第4四半期の税引前利益は4億9,000万CHFで2012年第3四半期比2%減。預金マージンに対する継続的な圧力と顧客活動の低迷にもかかわらず、純収益は22億900万CHFで安定的に推移。
- ・ コーポレート&インスティテューショナル顧客事業：2012年第4四半期の税引前利益は2億3,800万CHFで2012年第3四半期比11%増。純収益は5億4,700万CHFで2012年第3四半期比8%増。経常手数料/フィーの増収を含む。
- ・ アセット・マネジメント事業：2012年第4四半期の税引前利益は1億8,300万CHFで2012年第3四半期比18%減。純収益は5億7,800万CHFで、アバディーン・アセット・マネジメント社の最終株式売却益1億4,000万CHFを含んだ2012年第3四半期に比べて6%減。2012年第4四半期には、運用手数料や運用成功報酬の増収があったものの、減益となった。

・ 2012年第4四半期の新規純資産は68億CHF：

- ・ ウェルス・マネジメント顧客事業：新規純資産29億CHFの貢献。特に新興国市場と超富裕顧客層(UHNWI)からの資産流入は多く、西ヨーロッパ市場での資産流出によって一部相殺。
- ・ コーポレート&インスティテューショナル顧客事業：新規純資産11億CHFの貢献。
- ・ アセット・マネジメント事業：新規純資産25億CHFの貢献。クレジット、インデックス戦略、オルタナティブ投資の各事業からの資産流入が、債券商品事業からの資産流出によって一部相殺。

- ・ 2012年第4四半期の営業費用合計は23億5,500万CHFで、2012年第3四半期に対して安定的に推移。これは、効率化措置による従業員の報酬および給付の減少が、主としてIT基盤投資および季節性費用による一般管理費の増加によって一部相殺。
- ・ 戦略的施策により2012年通期における税引前利益に3億CHFの効果をもたらした。

インベストメント・バンキング部門の2012年第4四半期の純収益は26億6,400万CHF、税引前利益は2億9,800万CHF：

- ・ 純収益は、一部の金融商品における年末季節性を反映し、2012年第3四半期比16%減少。
 - ・ 債券セールス&トレーディング業務：季節的収益は低迷し、8億8,700万CHF。2012年第3四半期比38%減。これは、ほとんどの事業で12月の売買高が減少したことによるものである。しかし主要フランチャイズ事業における市場主導ポジションは維持。
 - ・ 株式セールス&トレーディング業務：収益は、2012年第3四半期に対して7%減の9億1,000万CHF。これは、顧客活動が引き続き低迷したことによるものである。
 - ・ 引受およびアドバイザリー業務：引き続き好調で、収益は2012年第3四半期比14%増の9億8,200万CHF。これは、グローバル・ハイイールド起債数量の大幅な拡大と、企業の合併および買収(M&A)の成約件数の大幅な増加によって牽引されたものである。
- ・ 営業費用合計は2012年第3四半期に対して12%減の23億6,400万CHF。これは、コスト削減策の実施が引き続き進捗を見せたことによるものである。2012年第3四半期に計上された特定訴訟費用1億3,600万CHFを除いた場合の営業費用は8%減少。
- ・ 同部門の2012年のノーマライズド*・バーゼル3配分資本利益率は前年のマイナスに対して9%。2012年の当社の継続事業におけるノーマライズド*・バーゼル3配分資本利益率は14%。これは、債券部門の利益率が同部門の平均まで回復したことによるのである。
- ・ 2012年におけるバーゼル3 RWAをさらに大幅に削減し、23%減の1,870億米ドルまで減少。2013年末の目標である1,750億米ドルに近づいた。

コスト削減措置の進捗状況：

2011年上半期の調整済み*年率換算ランレートに対して2012年に20億CHFのコスト削減を達成した後、クレディ・スイス・グループは、本日、2013年のランレート・コスト削減目標額を32億CHFまで引き上げるほか、2015年末までに達成すべき合計目標額も4億CHF増の44億CHFに増額する意向を発表しました。2012年第4四半期中、コーポレート・センター部門において2億8,500万CHFの事業再編成コストを認識しました。2012年通期の報酬関連費用合計は2011年と比較して5%減少しました。

統合事業モデルのメリット

クレディ・スイス・グループの2012年第4四半期の統合事業モデルからのコラボレーション収益は12億200万CHFでした。これは、グループ全体の2012年第4四半期の純収益の21.0%に対応し、主要業績指標(KPI)目標値の純収益の18-20%を上回りました。

資本および資金調達

2012年7月、クレディ・スイス・グループは、現在の規制および市場環境に鑑み、資本金を153億CHF増強するための数多くの施策を発表しました。

2012年第4四半期末現在のルックスルーのスイス国内コア資本比率は、2012年7月に発表した残りの措置の完了を前提として、試算ベースで9.4%でした。2012年末のルックスルーのスイス国内コア資本比率は報告ベースで9.1%でした。クレディ・スイス・グループでは、2013年半ばには、スイス国内の2018年末要件である10%を上回ると確信しています。追加の戦略的事業売却および資本計画の一環としてのその他の措置も、近いうちの完了に向けて順調に推移しています。2013年1月にクレディ・スイス・グループは上場投資信託（ETF）事業の売却を発表しましたが、2013年第2四半期末までに売却手続きを完了する見通しです。

2012年第4四半期末現在、クレディ・スイス・グループは、バーゼル2.5コアTier 1比率15.6%、バーゼル2.5 Tier 1比率19.5%を報告し、それぞれ、2012年第3四半期を0.9パーセンテージ・ポイントと1.0パーセンテージ・ポイント上回りました。2012年第4四半期末現在のグループのバーゼル2.5資本比率合計は22.3%で、2012年第3四半期を1.1パーセンテージ・ポイント上回りました。

また、クレディ・スイス・グループは、2012年10月、貸借対照表上の総資産を、為替変動を考慮しないベースで、2013年末までに13%削減し、9,000億CHF未満に減らすという目標を設定し、それを達成するための施策を発表しました。2012年末現在の貸借対照表上の総資産は9,240億CHFで、2012年第3四半期に比べ990億CHFすなわち10%減少しました。2012年第4四半期末現在のクレディ・スイス・グループのFINMAレバレッジ・レシオは5.8%で、2012年第3四半期の5.2%を上回りました。

クレディ・スイス・グループは、引き続き保守的に流動性管理を行っており、2012年第4四半期末現在、現行FINMA枠に基づく安定調達比率（NSFR）は100%を超えているほか、スイス国内規制に基づく短期流動性も要件を超えています。

資本剰余金**からの配当金の提案：

クレディ・スイス・グループの取締役会は、2013年4月26日に開催予定の年次株主総会において、2012年事業年度に関して、資本剰余金から1株当たり0.10CHFの現金配当の提案を行う予定です。加えて、取締役会では新規株式の交付（株式配当）も提案する予定です。株式配当のための新株の払い込みは、資本剰余金から1株当たり0.04CHFの額面価格で実施する予定です。資本剰余金からの配当（現金および株式）に対しては、スイス国内の源泉所得税の徴収が免除され、また個人投資として株式を保有しているスイス国内に居住する個人に対する所得税も課税対象外となります。現金配当および株式配当の配当落ち日は、2013年4月30日に設定されました。

株式配当は、すべての株主を対象に次の要領で実施されます。保有株式1株につき、株主の皆様は、一定の新株数を無償で受ける譲渡不可の権利を受け取ります。交付後、同権利は、年次株主総会直前に取締役会が決定した割合で、新規株式と自動的に交換されます。取締役会では、各権利の理論価額が約0.65CHFになるような方法で引受権割合を設定する予定です。

今回の配当提案は、クレディ・スイス・グループが2012年7月に発表した資本計画に沿ったものです。同計画の実施は継続中であり、ルックスルーのスイス国内コア資本比率が10%に到達した後に大型現金配当の実施が可能となるように進められています。2013年の半ばには、同割合に達することを目標にしています。

部門別業績詳細

部門別業績		2012年	2012年	2011年	2012年第3四半期	2011年第4四半期
単位：百万 CHF		第4四半期	第3四半期	第4四半期	からの増減率 (%)	からの増減率 (%)
プライベート バンキング& ウェルス・ マネジメント	純収益	3,334	3,310	3,087	1	8
	貸倒引当金繰入額	68	35	74	94	(8)
	営業費用合計	2,355	2,339	2,481	1	(5)
	税引前利益	911	936	532	(3)	71
インベスト メント・ バンキング	純収益	2,664	3,184	1,048	(16)	154
	貸倒引当金繰入額	2	6	23	(67)	(91)
	営業費用合計	2,364	2,695	2,453	(12)	(4)
	税引前利益/損失	298	483	(1,428)	(38)	-

プライベート・バンキング&ウェルス・マネジメント部門

グローバル・ベースのウェルス・マネジメント顧客事業、スイス国内のコーポレート&インステイテューショナル顧客事業およびグローバル・ベースのアセット・マネジメント事業から構成されるプライベート・バンキング&ウェルス・マネジメント部門は、2012年第4四半期において税引前利益9億1,100万CHFおよび純収益33億3,400万CHFを計上しました。純収益は2011年第4四半期と比べ8%増で、これは、主として運用手数料、仲介手数料および商品発行手数料の増収からのトランザクション・ベース、運用業績ベース双方の大幅な収益増加によるものです。2012年第3四半期と比べ、純収益は安定的に推移しましたが、これは、トランザクション・ベースおよび運用業績ベースの増収が、その他の収益の低下によって相殺されたことによるものです。2012年第3四半期のその他の収益には、投資関連利益およびクレディ・スイス・グループによるアバディーン・ネット・アセットの持株の最終売却などが含まれています。

営業費用合計は、23億5,500万CHFで、2011年第4四半期を5%下回りました。これは、主としてコスト効率化施策の効果による、従業員の報酬と給付および一般管理費の減少によるものです。2012年第3四半期と比べ、営業費用合計は、安定的に推移しましたが、これは従業員の報酬と給付の減少が、主としてIT基盤投資と季節性費用による一般管理費の増加によって相殺されたためです。

ウェルス・マネジメント顧客事業の2012年第4四半期の税引前利益は4億9,000万CHF、純収益は22億900万CHFで、2011年第4四半期を4%上回りました。この増収は、主として仲介手数料と商品発行手数料の増収によるトランザクション・ベースおよび運用業績ベースの収益の増加、ならびに統合ソリューションと運用手数料の収益の増加によって牽引されたものです。これらの増収は、顧客取引に関連する外国為替手数料の減収によって一部相殺されました。2012年第3四半期に比べ、純収益は安定的に推移、これはトランザクション・ベースおよび運用業績ベースの収益の増加が、経常手数料/フィーと純利息収入の若干の減少によって相殺されたことによります。2012年第4四半期のグロス・マージン110ベース・ポイント(bp)は2011年第4四半期比で5bp減少し、2012年第3四半期に対して安定的に推移しました。

コーポレート&インスティテューショナル顧客事業は、スイス国内のコーポレート&インスティテューショナル顧客および世界中の銀行からのニーズに対応した包括的サービスを提供しています。税引前利益は2億3,800万CHF、純収益は5億4,700万CHFと好調で、2011年第4四半期を13%、2012年第3四半期を8%上回りました。営業費用合計は2011年第4四半期に対して安定的に推移し、2012年第3四半期を2%下回りました。2012年第4四半期の貸倒引当金は、正味融資ポートフォリオ606億CHFに対して3,200万CHFを計上しました。

アセット・マネジメント事業の2012年第4四半期の税引前利益は1億8,300万CHF、純収益は5億7,800万CHFとなり、2011年第4四半期を20%上回りました。これは、手数料ベースの収益増加によって牽引されたものですが、この増収は、運用手数料とプライベート・エクイティに関する成功報酬収益の増加が、投資関連損失によって一部相殺されたことによるものです。2012年第4四半期の純収益は2012年第3四半期を6%下回りましたが、これは投資関連損失と資本参加およびその他の収益の減収が、手数料ベースの増収を上回ったことによるものです。

インベストメント・バンキング部門

インベストメント・バンキング部門の2012年第4四半期の純収益は26億6,400万CHF、税引前利益は2億9,800万CHFを計上しました。純収益は2011年第4四半期を大幅に上回りましたが、これは、すべての事業で収益が伸び、特にフランチャイズの再ポジショニングによって債券セールスおよびトレーディング業務が大幅に改善したことによるものです。2012年第3四半期に対して純収益は16%減少しましたが、これは主として債券セールスおよびトレーディングの業務の季節的要因によるものです。2012年第4四半期には、債券事業の再ポジショニングにより、引き続きリスク加重資産のレベルを大幅に下げボラティリティを狭め、よりバランスの取れた一貫性のある業績を上げることができました。

債券セールス&トレーディング業務の収益8億8,700万CHFは、2011年第4四半期を大幅に上回りましたが、これは証券化商品が大幅に伸びたほか、法人融資、グローバル・クレジット商品、新興国市場の各業績が向上したことによるものです。好調だった2012年第3四半期に比較すると、当四半期の収益は38%減となりましたが、これは、取引高の減少による証券化商品とグローバル・クレジット商品を含めた、ほとんどの債券事業での季節的な要因によるものです。

株式セールス&トレーディング業務の収益9億1,000万CHFは、2011年第4四半期を24%上回りましたが、これはデリバティブとキャッシュ・エクイティの増収によるものです。収益は、2012年第3四半期を7%下回りましたが、これはファンド連動商品および株式アービトラージ・トレーディングの減収が、キャッシュ・エクイティ、プライム・サービス、デリバティブからの増収を大きく上回ったことによるものです。

引受およびアドバイザー業務の収益9億8,200万CHFは、2011年第4四半期を93%上回りました。これは、グローバル・ハイイールド起債数量の大幅な拡大による債券引受業務の好調な収益によるものです。M&Aとアドバイザー業務の収益は、グローバル業界全体におけるM&A成立の活発化によって増加しましたが、これは、市場シェアの低下によって相殺されました。収益は、2012年第3四半期を14%上回りましたが、これは、債券引受業務の増収、とりわけレバレッジド・ファイナンスとM&Aの手数料の増収によるものです。

従業員の報酬および給付は、2011年第4四半期を1億4,800万CHF、すなわち11%下回りましたが、これは主に前年の報酬付与からの繰延報酬関連費用の減少によるものです。従業員の報酬

おおよび給付は、2012年第3四半期を3億500万CHF、すなわち21%下回りましたが、これは、裁量的業績連動報酬関連費用の減少と前年の報酬付与からの繰延報酬関連費用の減少によるものです。営業費用合計は、主として訴訟関連引当金の積み増しにより2011年第4四半期を5%上回りましたが、2012年第3四半期対比では、主として訴訟関連引当金の減少により2%減少しました。

コーポレート・センター

コーポレート・センターは、2012年第4四半期に税引前損失6億1,300万CHFを計上しました。これには、自社社債の公正価値評価損1億9,700万CHF、単独デリバティブの公正価値評価損5,900万CHF、一定のストラクチャード・ノート負債証券の借方評価調整分1億2,000万CHFが含まれており、これら3つの合計損失の3億7,600万CHFが当四半期に計上されました。これに対して2011年第4四半期は1億200万CHFの税引前損失、2012年第3四半期は10億6,000万CHFの税引前損失でした。

(注*) 下表の基礎的、ノーマライズド、調整済みの業績は、GAAPによらない財務評価基準によるものです。下表には、このような財務評価基準のうちの一定の調整分が含まれています。基礎的、ノーマライズド、調整済みの財務評価基準（過去期間の調整、調整年率換算ベースの費用ランレート、インベストメント・バンキング部門の既存および継続事業のノーマライズド・ベースの税引後バーゼル3配分資本利益率を含む）の算定の詳細については、2012年第4四半期業績説明会用スライドをご覧ください。

2012年第4四半期および2012年通期の主要項目の概要										
単位：百万CHF	コア業績		法人税費用		支配権を		株主帰属		株主資本	
	税引前利益		/(利益)		有しない持分		ベース純利益		利益率	
	4Q12	2012	4Q12	2012	4Q12	2012	4Q12	2012	4Q12	2012
報告業績	596	2,106	193	589	6	34	397	1,483	4.4%	4.3%
自社社債信用スプレッドの変動による公正価値評価損失(注1)	376	2,939	72	678	-	-	304	2,261	-	-
再編成費用	285	680	95	203	-	-	190	477	-	-
アパディーン・アセット・マネジメントの株式売却益	0	(384)	0	(58)	-	-	0	(326)	-	-
非中核事業の売却益(クラリデン・ロイの統合化)	0	(41)	0	(4)	-	-	0	(37)	-	-
AMF減損費用およびその他の損失	30	68	12	27	-	-	18	41	-	-
不動産売却益	(151)	(533)	(31)	(88)	-	-	(120)	(445)	-	-
大型IB訴訟関連引当金	0	136	0	40	-	-	0	96	-	-
ウィンカサの売却益	(45)	(45)	0	0	-	-	(45)	(45)	-	-
予定されている特定プライベート・エクイティ投資の売却損	82	82	10	10	-	-	72	72	-	-
基礎的業績	1,173	5,008	351	1,397	6	34	816	3,577	8.7%	10.0%

注1 自社社債の公正価値評価損益は、米国 GAAP に基づく時価会計の要素で、クレディ・スイス・グループの信用スプレッドのボラティリティを反映し、各社債の償還期間にわたって利益または損失を生じない。

**株式配当の詳細および条件を記載した要項は、2013年3月25日ごろにクレディ・スイス・グループの株主の皆様にご公表されます。本プレスリリースは、クレディ・スイス・グループの株式の売却の提供、応募の勧誘、購入または応募の提供の勧誘を行うためのものではありません。また本プレスリリース（またはその一部）とその配布の事実、そのための契約の根拠とし、当該契約に関してこれに依拠することはできません。さらに、適用されるスイスの法律に定義される目論見書や、SIX スイス国内株式上場規則に定義される上場目論見書を構成するものでもありません。

業績報告方法の変更について：

本プレスリリースに発表した内容は、従前別々に報告していたプライベート・バンキング部門、アセット・マネジメント部門の業績を、新たに設立した一部門である「プライベート・バンキング&アセット・マネジメント部門」に統合し、スイス国内の証券トレーディングおよびセールス業務の主なものをインベストメント・バンキング部門からプライベート・バンキング部門に移管したことを反映した内容となっています。今回の組織再編は、2012年11月30日付で実施されました。プライベート・バンキング&アセット・マネジメント部門の業績の新しい表示には、ウェルス・マネジメント顧客事業、コーポレート&インスティテューショナル顧客事業、アセット・マネジメント事業の3つの事業の業績の表示が含まれています。また同部門に移管したスイス国内の証券トレーディング&セールス業務の業績は、これら3つの事業に割り当てて報告しています。過去の業績については、現在の表示方法に合わせて調整し、報告しています。

####